

# 上下水道分野における国際展開

## 1 国際展開の背景

世界の水問題 ー水環境改善の必要性ー

- ◇ 安全な水にアクセスできない人口は、約8.8億人
- ◇ 下水道等の衛生施設を利用できない人口は、約26億人
- ◇ アジア等では、経済成長に伴い水環境が悪化

世界の水ビジネスの現状

- ◇ 世界の水ビジネス市場  
2025年には約87兆円市場に成長。上下水道を一貫受注できる欧州・新興国企業が優勢。
- ◇ 世界の水環境改善に向けた日本の方針  
我が国の環境技術を活かしたインフラ整備をパッケージでアジアに展開  
事業運営の技術・ノウハウがある自治体の上下水道所管部署の海外展開を推進
- ◇ 求められる官民連携  
・日本の上下水道：市町村経営が原則で自治体が事業運営の技術・ノウハウを保有  
・民間企業：最先端の水関連技術を有するも、水ビジネスの分野全体を横断的に事業展開する企業が少ない。

## 2 川崎のポテンシャル

- ◇ 上下水道の事業運営で培われた技術・ノウハウ  
事業運営、環境対策、漏水対策、水質管理、下水高度処理、浸水対策 等
- ◇ 国際展開のこれまでの取組  
JICAの技術協力、官民連携による国際展開、水関連技術の海外への情報発信
- ◇ 民間企業に培われた技術・ノウハウ  
世界で事業展開する企業、高度な技術力を有する中小製造業の立地 等
- ◇ 羽田空港の国際化等による地理的優位性  
アジアを中心とした海外とのヒト、もの、情報の交流が活発化



## 3 国際展開の実施方針（平成24年5月策定）

### 実施方針の概念図

### 基本目標

国際展開の推進による世界の水環境改善への貢献

期待する効果 ■ 世界の水環境の改善 ■ 水ビジネスの海外展開  
■ 上下水道事業の持続的経営

### 基本方針

#### 基本方針1 官民連携による国際展開

民間企業の水関連技術・製品・ノウハウ  
+ 川崎市の事業運営の技術・ノウハウ  
+ 川崎市によるビジネス環境の整備

水環境改善に向け国際展開を推進

#### 基本方針2 技術協力による国際貢献

川崎市の事業運営の技術・ノウハウ

上下水道を通じた健全な水循環の構築

対象地域の社会・経済発展に貢献

### アクションプラン

#### アクション1

#### プラットフォームの構築

官民が連携、協調するプラットフォームとしてかわビズネットを設立

#### アクション2

#### 水ビジネスの支援

かわビズネットを通じて対象国・地域の水ビジネスを支援

#### アクション3

#### 海外への技術支援

- ・ 専門家の派遣
- ・ 技術移転の機会提供

#### 水ビジネスの対象国・地域

- ◇ 中国・瀋陽市（友好協力協定 2012.5） ◇ ベトナム・ダナン市（環境協力協定 2012.2）
- ◇ 豪・クィーンズランド州（経済交流協定 2011.7） ◇ その他のアジア地域

## 4 かわさき水ビジネスネットワークの設立（アクション1）

プラットフォームの構築 平成24年8月かわさき水ビジネスネットワーク設立

**会員** 商社、コンサルタント、エンジニアリング、建設、機械、電気・精密機器、金融、  
「川崎ものづくりブランド」認定企業、川崎商工会議所、川崎市 等  
**52会員**

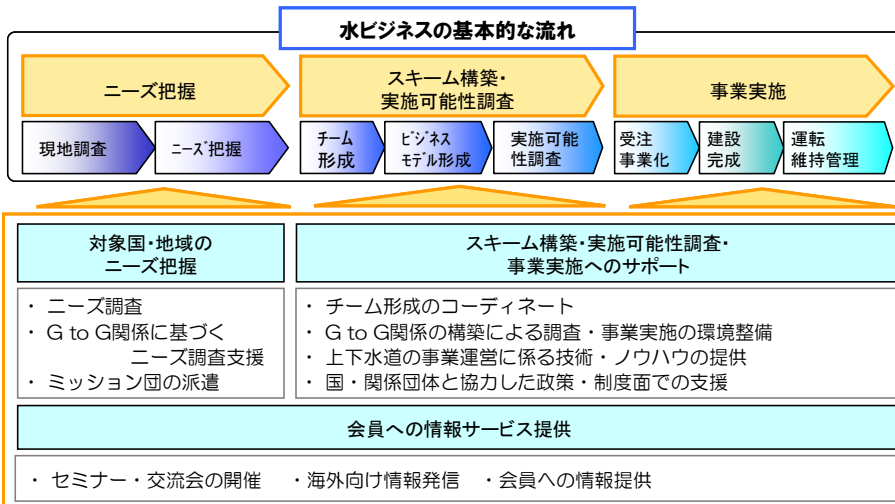
**協力団体** 【関係省庁】厚生労働省、経済産業省、国土交通省  
【関係団体】JICA、JBIC、水道協会、JETRO横浜、下水道協会、  
川崎市産業振興財団  
【海外自治体駐日事務所】瀋陽市、ダナン市、クィーンズランド州  
**12団体**

## 5 かわさき水ビジネスネットワークの運営（アクション2）

運営 水ビジネスに精通した幹事(民間企業)による主導、事務局の運営サポート

**会長** 小泉 明 首都大学東京 都市環境学部 特任教授  
**特別顧問** 川崎市長、川崎商工会議所会頭  
**幹事** 伊藤忠商事(株)、川崎商工会議所、JFEエンジニアリング(株)、(株)東芝、  
(株)みずほ銀行、(株)横浜銀行、川崎市  
**事務局** 川崎市

水ビジネスの支援 官民が連携して水ビジネスの各段階で必要なサポート



## 現在の取組状況

【幹事会】

水ビジネスに精通した民間企業及び川崎市を幹事とし、水ビジネスの対象国・地域の  
ニーズ把握に向けた活動計画等を検討中

【ニーズ把握等】

- ◇ 会員企業を対象とした意向調査の実施
- ◇ クィーンズランド州におけるニーズ調査に向けた検討  
(2月予定)
- ◇ 地域特性を考慮した分散型処理システムの企業  
説明会の実施、分科会の設立(2月以降)

【情報発信・情報共有】

- ◇ 川崎国際環境技術展への出展(2月)
- ◇ ホームページ、メーリングリストによる情報発信、  
情報共有の実施



川崎国際環境技術展

## 6 海外への技術支援（アクション3）

海外への技術支援として、JICAが実施する  
「ラオス国水道公社事業管理能力向上プロジェクト」に技術職員2名を派遣(平成24年12月以降)

- ◇ 派遣先：ラオス人民民主共和国ビエンチャン市  
ほか
- ◇ プロジェクト概要  
ラオス国の水道普及率の向上に向けて水道の  
事業主体である水道公社の管理能力を強化する  
ものであり、本市職員は、さいたま市、埼玉県  
の職員と協力して、配給水管網図整備の支援、  
老朽度分析の指導等を実施



ビエンチャン・チナイモ浄水場

当面、上下水道分野において、アジア等の水環境の改善に貢献していくが、順次、  
廃棄物処理等の環境分野にも拡大するよう取り組んでいく。